

## 第9回厚田区地域協議会〈移住・定住〉をテーマにした協議 委員意見まとめ

### ◎居住地の確保・空き家の解消

- ・ 仕事で札幌方面から通っている人もいるが、住む家があれば厚田に住むのでは。
- ・ 仕事と住居をセットで提供できないか。
- ・ 空き家・空き地の取得を行政で助成するなどの取り組み必要。
- ・ 人口増の自治体の先進地事例を研究すべき。(空き家対策等)

### ◎交通の課題

- ・ 高校生以上は通学が不便。その経験を自分の子どもにさせたくないという思いあり。
- ・ 高校生以上は送迎で親も大変。部活に入れば八幡や花畔まで親が迎えに行くという生活になる。
- ・ 子どもの中学卒業と同時に市街地に引っ越す家庭もある。
- ・ 車を持っていない学生や高齢者は特に不便を感じている。

### ◎仕事の確保

- ・ バイトから始めて独立して漁師になって厚田に移住した方もいる。
- ・ 仕事の選択肢が少ない。(農業、漁業、建設業が主?)
- ・ 建設業は人材不足。官民一体で解消に向けて取り組みが必要。
- ・ 企業誘致に力を入れるべき。
- ・ 企業が一個丸ごと来るような魅力、付加価値が必要。(土地代無料、建物付き等のアイデア)  
=社員も一緒に厚田に住んでもらえば過疎化の解消になり、人口も増え公共交通利用者の増も期待でき営業にもつながるのでは。

### ◎地域の魅力アップ

- ・ ふるさと納税の活用や地域独自の助成制度など出来ないか。  
(子どもの給食費、病院代、保育料、企業誘致に関しては土地代無料、建物付き等のアイデアを)
- ・ 漁師と農家が協力・連携して朝市を道の駅でやるなどして地域のまとまり感をPR。
- ・ 厚田学園の子ども達と地域との関わりを一層強化し、厚田区の一体感を醸成したい。  
(まとまりのある魅力的な地域=企業も目を向けるきっかけになる)
- ・ 学校、住むところがあれば移住者が増え子どもも増える。
- ・ 厚田学園を特認校に。その可否、区外から通学するときの交通が課題。
- ・ 朝市看板の補修を子ども達自らが進言するなど、厚田愛の取組み成果を実感。  
=近説遠来の「近説」をより推し進め、魅力ある地域にして、移住者が来るきっかけに

### ◎後継者不足の解消(農業)

- ・ 10年以内に農家を廃業する人も出るので、農家としても新規就農者を受入れる体制が必要。
- ・ 農業をやってみたいという方がトライできる環境が必要。
- ・ シカ等の農業被害対策として、有害鳥獣罨除できるハンター育成が必要。

### ◎地域おこし協力隊制度の活用

- ・ 地域おこし協力隊の制度を活用して最終的に新規就農につなげる流れができないか。  
=将来的に厚田で農家をやりたい意向があれば受け入れ体制を整える必要あり。